



東北復興 PSW にゆうす

あけましておめでとうございます。本年も被災地・東北の現在を皆様へお届けすべく、今号は岩手県支部長から巻頭言をご寄稿いただきました。復興は道半ばです。本年もお力添えの程、何卒よろしくお願い致します。



支部長メッセージ—岩手県から—



岩手県精神保健福祉士会

会長 品川清美（ひめかみ病院）

東日本大震災の取組等について岩手県精神保健福祉士会（内包岩手県精神保健福祉士協会岩手県支部）の設立当初からの概要を交え報告させていただきます。

2000（平成12）年6月3日 岩手県精神保健福祉士会43名で設立。理事として就任。

2006（平成18）年日本精神保健福祉士協会岩手県支部設立（それ以前の日本精神保健福祉士協会への加入者は若干名だったと聞いています）。支部長として就任。

2008（平成20）年 岩手県精神保健福祉士会会長として支部長も兼務。

2011（平成23）年 東日本大震災発生。同年、岩手県理事会で役員が分担し被災会員の意見聴取。県内福祉職職能団体協働による岩手県災害派遣福祉チーム発足準備。

2012（平成24）年 東日本大震災復興支援活動。

2013（平成25）年 岩手県災害派遣福祉チーム発足。岩手県精神保健福祉士会ホームページ開設。

2015（平成27）年 東日本大震災 復興支縁ツアー開催（大船渡等）。

2016（平成28）年11月1日から当会も参画した岩手DPAT運営要綱がスタート。

2016（平成28）年11月19日・20日 岩手県精神保健福祉士会主催当会オリジナルのベースアップ研修開催。「業務指針からみるPSWの価値と専門性」と東日本大震災と今年度当県での台風10号被災に纏わる「災害派遣福祉チームの活動からみる災害支援ソーシャルワーク」の内容で開催した。

還り見て「自身は何をしたのだろうか」と、常に自問自答し続けています。

一人の精神科病院の精神保健福祉士として、2011年3月11日（金）14時46分には、病院内で入院中のご家族様と面接中に東日本大震災を体験しました。

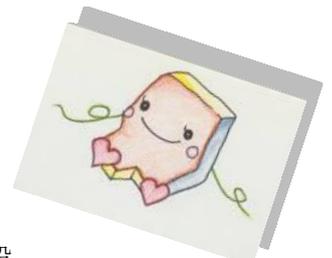
大震災後は自身も罹災者でした。自身のこと、家族のこと、病院のこと、当県の精神保健福祉士のこと（残念ながら1名同志を亡くしました）等、多岐にわたり問題が山積し、日本協会も含めた各機関からの問い合わせに等に対してシドロモドロしながらも何とか役員各位、日本協会各位、全国の皆様から多くの温かいご支援、ご協力のおかげで、日々を何とか過ごしてまいりました。改めて厚くお礼申しあげます。本当にありがとうございました。

全国の皆様、何度も同じことを機会あるごとに皆様に伝えてきました。岩手の県土は四国四県とおおよそ同規模で、津波は岩手のリアス式海岸の全てを、嘗め尽くす形で破壊しました。被害は莫大で、現在においても再建復興の過渡期にありハード面ソフト面もまだまだ時間がかかります。元々、交通網も脆弱な地が

人口減少傾向の結果等もあり、新たな交通網の構築等を迫られている現状にあり、生き方暮らし方まで左右する問題も表出されています。それでも、被災地に住まわれる多くの人々がいます。また、新たに希望を持って来る人々もいらっしゃいます。自身としては、今後とも少しでも岩手県精神保健福祉の向上のため微力ではありますが、尽力して参りたいと思います。



名峰・岩手山を望む



マスコットキャラクター
えんが〜る：岩（がん）ちゃん



◆一言メッセージ◆

東日本大震災復興支援委員会
委員長 福井康江

東北復興 PSW にゆうすをご覧ください、ありがとうございます。

昨年甚大な自然災害が続き、被害に遭われました皆様には心よりお見舞い申し上げます。

被災された方々のお話を伺いながら、災害を自分事として“ごくあたり前の生活”の中に取り入れなければならない思いは止むことはありません。

また同時に、県外避難者の皆様への様々な二次被害の報道に対し、酷く胸を痛めた一年ともなりました。

精神保健福祉士として、一人の人間として何ができるのか、引き続き構成員の皆様と共に考えていきたいと思います。被災地から県外へ避難された方は、全国各地で生活をされています。どうか、皆様方のお近くにも被災地から避難された方がいることを、今一度心に添えていただきたいと切に願っております。

★お知らせ①★

- 被災地の障害福祉サービス事業所等のご紹介 -

本協会では、東日本大震災復興支援の一環として被災地の障害福祉サービス事業所等を WEB サイトで紹介しております。ぜひお立ち寄りください。*リンク事業所も募集中です!*

<http://www.japsw.or.jp/ugoki/f-jyoho/link.html>

★お知らせ②★

- 復興支援助成金事業（第九期）交付決定！ -

福島県からの避難者支援活動のため、群馬県精神保健福祉士会から助成申請（「ぐんま暮らし応援会」の支援活動等）があり、交付を決定いたしました。その活動は改めて紹介いたします。

★お知らせ③★

- ご存知ですか？東日本大震災復興支援委員会メッセージ -

当委員会の委員が持ち回りで、各々の想いを WEB メッセージとして綴っていることをご存知でしょうか？ぜひ、一度ご覧ください。



奇跡の一本松(福島県南相馬市)

http://www.japsw.or.jp/ugoki/f-jyoho/web_message/20161226.html

★募集★【東日本大震災復興支援】助成金交付申請（第十期）★募集★

本協会では、東日本大震災復興支援事業の一環として、都道府県精神保健福祉士協会等による復興支援活動の経費を助成しています。詳細は本協会 WEB サイトをご参照ください。皆様からのご応募をお待ちしております。

☑第十期申請受付期限

2017年1月31日（火）：当日消印有効

☑申請方法

「交付申請書」に必要事項をご記入のうえ、本協会事務局宛てにご郵送ください。

<http://www.japsw.or.jp/backnumber/oshirase/2016/1206.html>



マスコット
キャラクター
「えんが〜る」

皆様からのご応募を心よりお待ちしております♥

【ご意見・ご感想をお寄せ下さい】

本紙では被災した各地の仲間へのメッセージ及び被災地からの情報発信など、相互交流ができる紙面づくりを目指しております。全国どなたからのメッセージでも構いません。本紙へのご意見・ご感想も大歓迎です。それぞれのお立場からの声をお聞かせください。お寄せいただいたメッセージは、本紙面や本協会 WEB サイトにてご紹介させていただきます（原則として投稿者氏名以外の個人情報掲載いたしません）。

メッセージ投稿は東日本大震災復興支援委員会への FAX もしくは E-mail (office@japsw.or.jp)にてお願いいたします。

★☆☆題名に「PSW にゆうすについて」とご記入をお願いします。☆☆★

第 26 号 2017 年 1 月 15 日発行

発行：公益社団法人日本精神保健福祉士協会 東日本大震災復興支援委員会

〒160-0015 東京都新宿区大京町 23-3 四谷オーキッドビル 7F TEL. 03-5366-3152 FAX. 03-5366-2993

★URL : <http://www.japsw.or.jp/>

★東日本大震災復興支援サイト <http://www.japsw.or.jp/ugoki/f-jyoho.html>